

ねらい

身近な「ふるさとの里山」で、児童たちは実際の林や森に入り、樹木の大きさや葉や花や実について観察して、視覚、嗅覚、そして木々を渡る風の音や小鳥のさえずりや昆虫の鳴き声に聴覚を働かせます。日頃の生活からチョット離れた処に自然があふれている事を体で感じて、自然の素晴らしさを学びます。

木の高さの観測では、単に用具を利用した測定だけでなく、自然に対する人間としての姿勢を学びます。

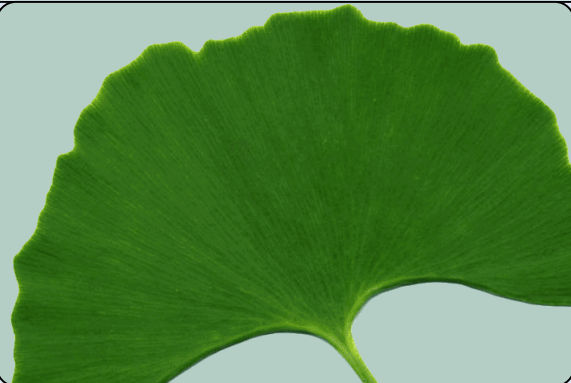
木の二酸化炭素保存では、測定した木の高さを使って二酸化炭素保存量を計算しすることで、地球温暖化防止の意味を学びます。

自分たちの学校の中や、近くの身近な里山で実施することが出来ます。

いちょう(銀杏)

現生の種子植物の中では、ソテツ類とともに最も原始的な性質を残した植物とされる。

葉の葉脈は平行脈で二又分枝し、主脈と側脈の区別がはっきり存在しないことは、原始的な特徴と考えられる。



お申し込みの際のお願い

会場: 学校付近の身近な林や里山
(安全な林や森について下見します)

所要時間: 約 90 分

参加人員: 1 クラス以上で学年 4 年生以上
(小・中・般)

費用: 交通費要

締め切り: 開催ご希望日の 1 ヶ月以上前にお申し込みください

その他の出前講座について

- びわ湖の環境について考える
- 葉っぱの不思議
- 流れる水のはたらき、水生生物の観察
- その他ご相談ください

お問い合わせは

〒520-0862 大津市平津 2-5-1
(滋賀大学教育学部内 425 号室)

TEL.077-537-7821 (留守電あり)

Email: shienshikai@yahoo.co.jp

ホームページ: 滋賀大学「環境学習支援士」会

URL:

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshikai425/>



滋賀大学

「環境学習支援士」会

自然観察会と

温暖化防止の樹木の役割

(樹木の葉の玉手箱作りと

木の高さと二酸化炭素保存判定法)



滋賀大学「環境学習支援士」会

環境学習の出前講座

みんなが自然と親しむ、身近な林の観察調査

みなさんのところへ“出前”します。

自然観察会と温暖化防止の樹木の役割

林や森に入り五感で自然を感じながら、樹木や花を観察すること、木の高さや二酸化炭素の吸収力を学ぶことで楽しく樹木の大切さや生命力が学べるプログラムです。



概要

1. 樹木の種類を知ろう

いつも見ている樹木の種類と名前の覚え方
広葉樹、落葉樹、常緑樹、針葉樹、特殊な木

1. 樹木の葉の玉手箱づくり

チームに分かれて葉っぱの玉手箱を作ろう
課題を記憶して仲間が力を合わせて活動

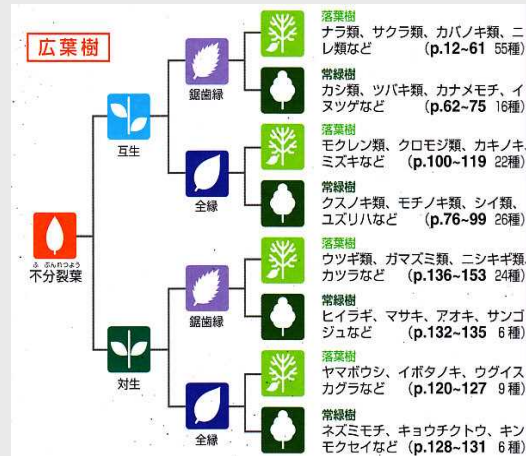
2. 樹木の高さの簡易測定法

身の回りの木の高さを簡単に測定しよう
あなたも木の高さの測定士になれます

3. 樹木の二酸化炭素吸収

高さや太さが分かれば木の二酸化炭素の
保存量が簡単に計算できます

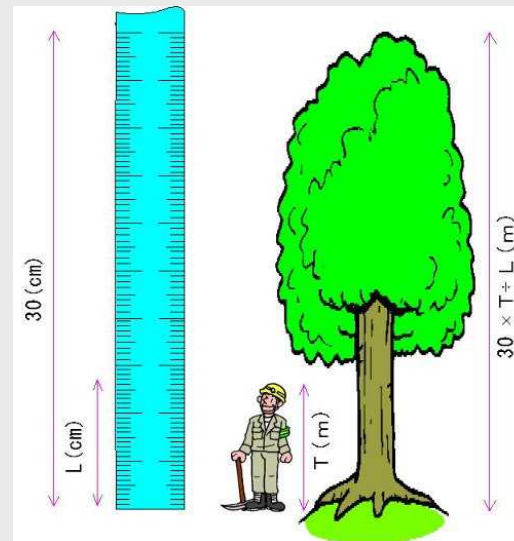
1. 樹木の種類を知ろう(屋内での学習) 木の分類を現地の木に合わせて学習



2. 樹木の葉の玉手箱づくり 下記のような葉っぱの玉手箱を作成



3. 樹木の高さの簡易測定法 高さを色々な用具で測ります



4. 樹木の二酸化炭素吸収 二酸化炭素吸収の原理と簡易計算

